

●区政レポート 郵送します! 区政レポートは年4回程度発行しています。区政トピックスや地域ニュースなど皆さまに役立つ情報をお届けしています。ご希望の方には、郵送させていただきます。

CONTENTS

●文教児童青少年委員会 委員長に就任 ●水道基本料金の無償化 ●大江戸線延伸が2040年開業へ ●光が丘駅エレベーター設置工事 ●赤ちゃんポストの視察 ●中田宏参議院議員勉強会

就任 文教児童青少年委員会 委員長

練馬区議会第2回定例会において議会人事が行われ、このたび「**文教児童青少年委員会 委員長**」を拝命いたしました。本委員会では、学校教育、保育、児童福祉、青少年育成など、子供に関わる幅広い政策を審議しています。

私は、「**子供たちは練馬、そして日本の未来**」だと強く信じています。だからこそ、教育政策や子育て環境の整備は、最も重要な課題の一つであると考えています。

子供たちが健やかに学び、育つことができる環境づくりに向けて、委員長としての責任をしっかりと果たし、全力で取り組んでまいります。

なお、議長をはじめとしたその他の人事や、人事の決定プロセスなどについては、YouTubeで詳しく解説しています。ぜひそちらもご覧ください。



無償 水道の基本料金

物価高騰と猛暑への対策として、今夏に限り水道の基本料金が無償化されます。

熱中症による死亡者数は年々増加傾向にあり、特に高齢の単身世帯で、エアコンを使用していない屋内での死亡が目立ちます。エアコン等を積極的に活用するなど、熱中症対策の徹底をお願いします。

1 対象者

主にご家庭で使われている小口径（13mm、20mm、25mm）の水道のご契約者（申請不要）

2 無償期間

令和7年の夏場の4か月分（6～9月分または7～10月分）

3 無償になる金額

小口径	4か月で無償になる金額
13 mm	3,784円（税込）
20 mm	5,148円（税込）
25 mm	6,424円（税込）

2040年 大江戸線延伸が開業へ

第2回定例会における区長の所信表明で、**大江戸線の延伸に関して重要な発言**がありました。

まず、副知事をトップとする東京都のプロジェクトチームが、これまでの検討結果をまとめ、**今年3月に練馬区へ報告**を行いました。その中で、**2040年頃に大江戸線延伸を想定していることが初めて示されました。**

また、これまで最大の課題とされてきた「収支採算性」については、**練馬区が200億円の財政負担を担い、鉄道施設の整備にも協力することで、採算性が確保できると見込まれています。**今後は、**東京都が国との協議を進めていく段階**に入ります。

長年にわたり取り組んできた延伸計画において、開業時期が示されたことは大きな前進です。しかし、2040年というのは15年も先の話であり、区民の皆さまの期待に応えるにはあまりにも遠い未来です。1年でも早い開業を目指し、引き続き早期実現に向けて全力で取り組んでまいります。



再開 光が丘駅エレベーター設置工事

これまで要望を重ねてきた、**光が丘駅A5出入口（くら寿司・ダイソー側）における地上と地下をつなぐエレベーターの設置**については、当初の計画ではすでに完成しているはずでしたが、**2度にわたる入札不調により工事が延期**されていました。この度ようやく**施工業者が決定し、令和8年度の完成**に向けて工事が進められています。



視察 赤ちゃんポスト

今年3月、医療機関としては**全国で2例目**となる「いのちのバスケット（赤ちゃんポスト）」が、**墨田区の賛育会病院**に設置されました。これを受け、日頃から勉強会等を一緒に行っている議員仲間とともに、**墨田区を視察**しました。

赤ちゃんポストは、**育児が困難な親が匿名で新生児を安全に託せる仕組み**で、命を守る“最後の砦”とされています。しかし現在、**全国での設置は3カ所にとどまり、匿名性と出自を知る権利の対立、法制度の未整備、財政的課題**など、さまざまな問題を抱えています。

赤ちゃんポストが設置されている自治体では、戸籍法に基づき子供に名前を付け戸籍を作成し、児童相談所が一時保護を担うといった対応が実施されています。**こうした対応に至る前段階として、妊娠期からの相談支援や居場所の確保、若年層への性教育・避妊啓発、経済的困窮への支援**といった、「託さざるを得ない状況」を未然に防ぐための取り組みも合わせて重要です。

赤ちゃんポストの課題は、**設置先の自治体にとどまらず、社会全体で向き合うべきもの**です。7月には、日本初の事例である熊本・慈恵病院の視察も予定しており、今後も先行事例を学びながら、命を守るために何ができるかを考えていきます。



中田宏参議院議員 勉強会

「中国製アプリは危ないのか？」

中国系動画投稿アプリ「TikTok（ティックトック）」をめぐる、ユーザーの個人情報が中国政府に渡る可能性があるとの安全保障上の懸念から、欧米諸国や日本国内の行政機関では、利用規制を強化する動きが広がっています。

こうした状況を踏まえ、**中田宏 参議院議員（現・環境副大臣および内閣府副大臣）**主催による「中国製アプリ」をテーマとした勉強会が開催され、私も参加しました。中田副大臣には、**2年前の私の区議会議員選挙の際に応援に駆けつけていただいたご縁**もあります。なお、**中田副大臣は、今夏（7月）に参議院議員としての任期が満了となる予定**です。

勉強会では、外務省、経済産業省、総務省、内閣官房国家安全保障局などの官僚の方々が講師として登壇され、それぞれの立場から情報提供がなされました。

中国企業は、中国政府からの要請があった場合、情報提供の義務を負うため、一定のリスクは否定できません。ただし、すべての情報が対象となるわけではなく、機微性の低いデータについては、リスクと見なされない場合もあるとのことでした。

TikTokに関しても、**端末に直接アクセスすることはない**との説明がありましたが、**投稿内容などがクラウド*に保存され、分析や情報収集に利用されている可能性は否定できません。**こうした懸念は、TikTokに限らず、中国製のスマートフォンや防犯カメラといった家電製品にも当てはまります。

最終的には、こうしたツールをどのように扱うかは、**私たち一人ひとりの判断**に委ねられています。同時に、**政治の立場としても、カントリーリスクを踏まえた安全保障上の観点から、どのような対応を取るべきか**が問われています。私自身も、中田副大臣とも連携を図りながら、この重要な課題に対して引き続き取り組んでまいります。

* クラウド：インターネット上のサーバーにデータを保存・管理する仕組み。



中田宏 参議院議員 プロフィール

- ・環境副大臣 兼 内閣府副大臣
- ・衆議院議員 4期
- ・横浜市長 2期



PROFILE

昭和60年（1985年）練馬区生まれ 練馬区育ち。39歳。文教児童青少年委員会 委員長。
練馬区立開進第一小、早稲田実業学校 中等部・高等部、早稲田大学政治経済学部 卒業。練馬区役所に9年勤務。
働きながら、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 修了（MBA）。公募にて自民党公認を得て、平成31年練馬区議会議員選挙にて初当選（7,720票 / 第3位 / 新人トップ）。令和5年再選（8,421票 / 第2位）。
●所属委員会：区民生活委員会、総合・災害対策等特別委員会 ●家族：妻・長男（12才）・長女（7才）・次女（5才）
●区役所での実績：「練馬こぶしハーフマラソン」立ち上げ、「よりどりみどり練馬」テレビCM制作、職員表彰 受賞（9年間で4回）
●地域活動など：ねりババ（練馬イクメンババプロジェクト）副代表、「池袋掃除の会」立ち上げ、練馬区珠算教育連盟 顧問



佐藤力事務所

〒179-0076 練馬区土支田 1-6-19
TEL & FAX : 03-4500-1756
公式 HP : <https://satoriki.net/>



配信中! YouTube 「佐藤力チャンネル」

YouTubeで、練馬区政に限らず、皆さんに
タイムになる情報を幅広く発信しています。
原則、毎週土曜日に配信中!

水害 治水 練馬区 白子川



区政レポート、郵送します!

区政トピックスや地域
ニュースなど皆さまに
役立つ情報をお届けし
ています。
年4回発行。無料。



郵送申込みはこちら